



序. 調査研究の目的と構成

1. 調査研究の目的

舞台技術は、舞台作品の創造や上演になくてはならない分野であり、ホール運営の基盤のひとつである。

公立ホールにおける舞台技術業務は、直営、民間への委託、ボランティアの活用などにより運営されている。

しかし、技術スタッフの体制、資質や他部門との連携といった組織の問題や、ボランティアの安全確保、参加意欲の維持と向上方策など、さまざまな問題を抱えている。

また、高機能化した設備は、結果的には従来以上に専門知識、能力を要求することとなっており、地域での創造活動の展開がますます重視されているにもかかわらず、絶対的な舞台技術者の数の不足や地域的な専門家の偏在という状況も見られる。

こうした舞台技術を取り巻く現状において、本調査研究は、公立ホールにおける舞台技術部門の現状と課題を明らかにし、ホール運営上、望まれる舞台技術管理、運営システムについての提言を行うことを目的に実施した。

2. 調査研究の構成と内容

(1) アンケート調査

公立ホールの舞台技術部門の現状を把握するために、アンケート調査を実施した。

調査内容

施設と運営の概要（施設概要、自主事業の概要等）

組織における技術部門の位置づけ（組織形態、施設設備管理規則、責任者等）

技術部門の職員の状況（人数、年齢、在職年数、資格、勤務態勢等）

技術部門の利用者への対応状況（業務分担、利用者の舞台設備操作の制限等）

民間への事業委託の状況（委託分野、委託内容、契約、委託先所在地等）

ホールボランティアの状況等（人数、分野、安全対策等）

調査施設と回答施設

アンケート調査にあたっては、全国の公立ホールのうち、施設規模や地域、圏域人口等のバランスを考慮し、比較的自主事業を実施している施設を優先して、400施設に調査票を送付し、300施設から回答を得た。

従って、回答の分布比率が、そのまま全国の公立ホールの状況を反映しているというわけではなく、定量的な結果については、あくまで傾向として認識する必要がある。

調査にあたっては、施設運営における技術部門への考え方等についても聞いており、調査票は、技術部門ではなく、総務部門に宛てて発送している。

表-1 回答施設の分布

	都道府県	政令指定市	広域組合	人口10万以上	人口10~3万	人口3万未満	計	(%)
北海道	1	—	—	3	2	—	6	2.0
東北	6	1	3	13	15	6	44	14.7
関東	5	2	—	40	4	4	55	18.3
北陸中部	7	2	2	26	29	7	73	24.3
近畿	10	3	1	15	9	4	42	14.0
中国	4	1	—	9	9	3	26	8.7
四国	2	—	—	3	6	3	14	4.7
九州	6	2	1	11	17	3	40	13.3
計	41	11	7	120	91	30	300	100.0
(%)	13.7	3.7	2.3	40.0	30.3	10.0	100.0	

(2) 事例ヒアリング調査

舞台技術部門の運営に対する具体的な取り組みについて、ヒアリング調査を行った。具体的な調査対象およびヒアリング内容は以下のとおり。

調査対象

財団法人北海道文化財団

盛岡市民文化ホール（財団法人盛岡市文化振興事業団）

富山県教育文化会館（財団法人富山県文化振興財団）

広島市文化創造・中区民文化センター（財団法人広島市文化財団）

喜多方プラザ文化センター（喜多方地方広域市町村圏組合）

會津風雅堂（財団法人会津若松文化振興財団）

ヒアリングの内容

組織の概要と舞台技術部門の位置づけ

事業の実施状況と舞台技術部門の役割

舞台技術職員の採用、研修、勤務の状況

舞台技術に関する事業の実施状況

技術ボランティアの現状と課題

(3) 専門家ヒアリング調査

舞台技術の現状及び今後の方向について、舞台技術に関わる専門家に対するヒアリング調査を実施した。

ヒアリングを行った専門家

三田村晴夫（財団法人新国立劇場運営財団技術部長）

ヒアリングの内容

舞台技術部門の業務と組織のあり方

(4) 専門家研究会の開催

アンケート及び事例ヒアリング調査の結果から得られた現状をもとに、公立ホールの舞台技術部門は、どのようにあるべきか、どのような観点から整備が行われるべきか、今後の課題と方策を検討した。

研究会の委員構成および検討内容は以下のとおり。

専門家研究会委員（五十音順）

大野 晃（神奈川県立県民ホール館長）

桑谷 哲男（世田谷パブリックシアターテクニカルマネージャー）

端 洋一（滋賀県文化振興事業団主任技師）

平田 尚文（岡谷市カノラホール館長）

真野 幸明（愛知県舞台設備管理事業協同組合理事）

コーディネーター

草加 叔也（劇場コンサルタント・空間創造研究所代表）

研究会の検討内容

公立ホールの舞台技術部門の現状の評価と課題

舞台技術者の職能のあり方

舞台技術管理業務のあり方

舞台技術部門への住民参加の課題とあり方

舞台技術者の育成における現状と課題

公立ホールの舞台技術職員の役割と課題